

木材の色

無垢の木と色味の変化

- ・木材は、時を経ることで色味が変化します。木の種類によって色味の変化は様々です。色が濃くなる材、反対に色があせていく材など色相、彩度、明度が変化します。
- ・様々な要因により変色が生じますが、木材に色の変化をもたらす最も大きな要因は“光”です。光は遮断することができないため、必ずその影響が現れてきます。光にはさまざまな波長があり、特に紫外線の影響は強く、木材の成分の中で最も光に敏感なリグニンという成分は、紫外線などの光を吸収して、分解し変性していく過程で木材の色が変化します。

木材の色	樹種	備考
褐色系	エンジュ、オニグルミ、カラマツ	木材の中には、辺材と心材の色味の違いが大きいものがありますが、その場合は、心材の色を基準として分類しています。
淡褐色系	アオダモ、アカマツ、カツラ、ケヤキ、スギ、トチ、ナラ	
桃色系	ヤマザクラ	
黄色系	クリ	
白色系	イタヤカエデ、イチヨウ、サワグルミ、ブナ、コシアブラ	
青緑系	ホオ	